

キューピー スペシャル
サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2024
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団



「ニューイヤー・コンサート 2023」公演より

サントリーホール恒例、新年を華やかに祝うニューイヤー・コンサート
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

サントリーホールは、恒例の「サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2024」を2024年1月1日(月・祝)、2日(火)、3日(水)の各日14:00より開催します。

1988年より開催しているサントリーホールのニューイヤー・コンサート。オペレッタの殿堂として名高いフォルクスオーパー(国民劇場)の専属オーケストラ、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団による本家本元のオペレッタやウィーナ・ワルツの演奏と、舞台をより華やかに彩るバレエで、サントリーホールのお正月の風物詩として約30年にわたり開催してきました。2024年の年明けもウィーン・フォルクスオーパー交響楽団と共に、サントリーホールで新年の幕開けを楽しく、そして華やかに祝います。

出演は、フォルクスオーパー一押しのソプラノ、ベアーテ・リッター。2016年の来日では超絶技巧コロラトゥーラを聴かせ聴衆を魅了しました。今回、サントリーホール年末年始公演に満を持して初登場し、ニューイヤー・コンサートではお馴染みのテノール、メルツァード・モンタゼーリとの息の合ったデュエットを披露します。指揮には元ウィーン少年合唱団のメンバーで、作曲活動を行うなど多彩な才能の持ち主グイド・マンクージが2018年以來の登場。日本を題材に自身で作曲した『新幹線ポルカ』も演奏します。バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーンによる華麗なバレエもこのコンサート恒例の魅せ場となっています。

皆様そろって楽しいポルカやワルツで新たな年をお祝いください。

※公演詳細はこちら(1月2日、3日の公演詳細はリンク内「シリーズ公演はこちら」)からご覧ください。

https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20240101_M_2.html

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017

(10:00~18:00、休館日、12/30~1/4を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB suntoryhall.pia.jp

— 記 —

キューピー スペシャル

サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2024

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

Kewpie Special

Suntory Hall New Year Concert 2024

Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

【日時】

2024年

1月1日(月・祝) 14:00開演(13:00開場) Monday, January 1, 2024 14:00 (Doors open 13:00)

1月2日(火) 14:00開演(13:00開場) Tuesday, January 2, 2024 14:00 (Doors open 13:00)

1月3日(水) 14:00開演(13:00開場) Wednesday, January 3, 2024 14:00 (Doors open 13:00)

各日とも13:20~プレ・コンサートを予定しています。 13:20- Pre-Concert on each day (TBC)

【会場】 サントリーホール 大ホール

【出演】

ソプラノ：ベアーテ・リッター Beate Ritter, Soprano

テノール：メルツァード・モンタゼーリ Mehrzad Montazeri, Tenor

指揮：グイド・マンクージ Guido Mancusi, Conductor

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン Ballett Ensemble SOVOP Wien

【曲目】

スッペ：オペレッタ『美しきガラテア』序曲

Franz von Suppé: *Die schöne Galathée*, Overture

カールマン：オペレッタ『サーカスの女王』より「再び輝く光の中へ」

Emmerich Kálmán: “Wieder hinaus ins strahlende Licht” from *Die Zirkusprinzessin*

ヨハン・シュトラウス II世：ワルツ『もろびと手を取り』作品443

Johann Strauss Jr.: *Seid umschlungen Millionen*, Op. 443

ドスタル：オペレッタ『クリヴィア』より「私は恋している」

Nico Dostal: “Ich bin verliebt” from *Clivia*

エドゥアルト・シュトラウス：ポルカ・シュネル『人が笑い生きるところ』作品108

Eduard Strauss: *Wo man lacht und lebt*, Polka schnell, Op. 108

ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ『パンジー』作品183

Josef Strauss: *Stiefmütterchen*, Polka-mazurka, Op. 183

ヨハン・シュトラウス II世：オペレッタ『ジプシー男爵』より「誰が僕たちを結婚させたのか」

Johann Strauss Jr.: “Wer uns getraut” from *Der Zigeunerbaron*

マンクージ：ワルツ『スタイル&エレガンス』

Guido Mancusi: *Stil & Eleganz* Waltz

ヨハン・シュトラウス II世：行進曲『我らの旗のひらめくところ』作品473

Johann Strauss Jr.: *Wo uns're Fahne weht!* March, Op. 473

ミレッカー：オペレッタ『哀れなヨナタン』より「私たちは気の毒なプリマドンナ」

Carl Millöcker: “Ach, wir armen Primadonnen!” from *Der arme Jonathan*

ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・シュネル『短いことづて』作品240

Josef Strauss: *Eingesendet*, Op. 240

ヨハン・シュトラウス II 世：オペレッタ『ヴェネツィアの一夜』より
「誠実でいるなんて 趣味じゃない」

Johann Strauss Jr.: “Treu sein, das liegt mir nicht” from *Eine Nacht in Venedig*
ガイド・マンクージ：『新幹線ポルカ』

Guido Mancusi: *Shinkansen Polka*

レハール：オペレッタ『パガニーニ』より「私ほどあなたを愛した人はいない」

Franz Lehár: “Niemand liebt dich so wie ich” from *Paganini*

ヨハン・シュトラウス II 世：ワルツ『美しく青きドナウ』作品 314

Johann Strauss Jr.: *An der schönen, blauen Donau Waltz*, Op. 314

【主催】サントリーホール

【協賛】キューピー株式会社

【協力】オークラ東京

【後援】オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京

【チケット料金】各日共 S 席 14,000 円 A 席 12,000 円 B 席 10,000 円

＜サントリーホール×オークラ東京のスペシャル・コラボレーション＞

コンサートの余韻とともに、華やかなディナーコースでお正月をお祝いください。

★1月2日公演限定お正月特別ディナーコース付き S 席 30,000 円 (税・サ込)

日時：1月2日（火）終演後 16:30～受付開始／17:00～18:30 お食事

ディナー会場：オークラ東京 宴会場 平安の間（オークラ プレステージタワー1階）

メニュー：総料理長による特別メニュー（ドリンク付き）

- ・ 鮮魚のスマールタルタル三部作 ブーケとキャビア飾り
ジュリエヌ野菜と彩りサラダ グリビッシュソース
- ・ クラシックなコンソメスープにたっぷりオニオン
- ・ 国産牛フィレのブロックロースト 新年をイメージした温野菜
伝統的な赤ワインソース
- ・ 宇治抹茶のババロワにフランボワーズのクリーム
ミルクジェラートと金柑とともに
- ・ 食後のコーヒーまたは紅茶

先行予約：9月24日（日）10:00～ サントリーホールチケットセンター

0570-55-0017（10～18時、休館日を除く）

一般予約：9月25日（月）10:00～

※定員になり次第締め切らせていただきます。

ご予約・お問合わせ：

オークラ東京 イベント係 03-3224-7688（月～金 10～17時、祝日を除く）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10～18時、休館日を除く）

協力：キューピー株式会社

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 2023年9月17日（日）10時～23日（土・祝）

一般発売 2023年9月24日（日）10時～

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB suntoryhall.pia.jp（24時間受付）

※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB会員は即日入会可）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～18:00、休館日、12/30～1/4を除く）

サントリーホール窓口（10:00～18:00、18時以降開演の公演開催日は開演時刻まで営業、
休館日を除く）

※先行期間中は窓口での販売はございません

チケットぴあ	t.pia.jp
イープラス	eplus.jp
ローソンチケット	l-tike.com

※都合により、内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。suntory.jp/HALL/

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

【他都市公演】 ※公演については各問合せ先にお問い合わせください

2024年1月5日（金）フェスティバルホール（大阪）

お問合せ：フェスティバルホール 06-6231-2221

2024年1月6日（土）枚方市総合文化芸術センター 関西医大大ホール

お問合せ：枚方市総合文化芸術センター 072-845-4910

2024年1月7日（日）三重県総合文化センター 三重県文化会館 大ホール

お問合せ：東海テレビチケットセンター 052-951-9104

2024年1月8日（月・祝）可児市文化創造センター ala 主劇場

お問合せ：可児市文化創造センター インフォメーション 0574-60-3050

【プロフィール】

■ソプラノ：ベアーテ・リッター **Beate Ritter, Soprano**

オーストリア出身。ウィーンで声楽を学び 2009年アン・デア・ウィーンで劇場デビュー。2010年から2018年まで、フォルクスオーパーの専属歌手として、『魔笛』のパパゲーナや夜の女王、『ホフマン物語』のオランピア、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタなど、コロラトゥーラ・ソプラノとして数々の役で活躍。2016年のフォルクスオーパー日本公演では『こうもり』のアデーレ役などで好演。現在は、『ラ・ボエーム』のムゼッタや『リゴレット』のジルダ、『ドン・パスクアレ』ノリーナなどイタリア・オペラにもレパートリーを広げ、シュトゥットガルト州立歌劇場(Staatsoper Stuttgart)を中心に、ライン・ドイツオペラ (Deutsche Oper am Rhein) 他、ヨーロッパ、アメリカ各地の歌劇場で活躍。

■テノール：メルツァード・モンタゼーリ **Mehrzad Montazeri, Tenor**

テヘラン生まれのオーストリア人。ウィーンのシューベルト音楽院、ウィーン国立音楽大学、ウィーン私立音楽芸術大学で学ぶ。数々のコンクールで入賞を重ね、バイロイト音楽祭で奨学生として研鑽を積んだのち、ヨーロッパを中心に世界各国の劇場や音楽祭、コンサートに出演。レパートリーは、オペラでは『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、『後宮からの誘拐』ペドリロ、『3つのオレンジの恋』トルファルディーノ、『魔笛』タミーノ、『魔弾の射手』マックス、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『蝶々夫人』ピンカートンほか多数。オペレッタでは、『ボッカチオ』ピエトロ王子、『乞食学生』シモン、『ヴェネツィアの一夜』ウルビーノ大公など。メータ指揮『後宮からの誘拐』DVD、メルビッシュ湖上音楽祭での1999年『ヴェネツィアの一夜』CD、2003年『ジュディッタ』CD・DVDの収録に参加。フォルクスオーパーには04/05シーズンにデビューし、翌シーズンから専属歌手を務めている。同楽団との日本での年末年始のコンサートでもお馴染みの顔となっている。

■指揮：ガイド・マンクージ **Guido Mancusi, Conductor**

1998～2002 年シェーンブルン宮殿室内管弦楽団首席指揮者、00～02 年ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団副指揮者。ウィーン芸術週間、クラングボーゲン、ロンドン古楽コンソートなどに客演。ウィーン室内歌劇場、エアフルト歌劇場などでも指揮している。02 年クラゲンフルト劇場の首席指揮者に就任。作曲家としても評価が高い。

■ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 **Symphonie-Orchester der Volksoper Wien**

ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせてくれるこの楽団は、ウィーンを代表するオペラ、オペレッタハウスとして 1898 年に創設されたウィーン・フォルクスオーパー（国民劇場）のオーケストラ・メンバーにより結成され、ウィーン市民に長く愛され続けている。

■バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン **Ballett Ensemble SOVOP Wien**

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回も選りすぐりの 2 組のペアが、サントリーホールの舞台上に登場し、エレガントな宮廷舞踏と、時にコミカルな演出で舞台を盛り上げてくれる。